

第3章 基本計画

3-1 リーディングプロジェクト

若者の定住促進強化プロジェクト



本プロジェクトは、若者を中心とする働く場、住む場、子育ての場の整備を総合的に進めることで、転入者と出生数の増加を図るとともに、転出者を極力抑制することにより、人口の減少に歯止めをかける取り組みです。

●プロジェクト化の背景と必要性

全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、国は地方創生*を掲げ、地方の人口維持・定住促進に向けた取り組みを本格的に進めつつあります。

定住促進を進めるにあたっては、生活の糧を得るための「働く場」、暮らしの基本となる「住む場」、次世代をつなぐ「育てる場」の整備が不可欠です。

「働く場」については、経済情勢の低迷を受け、地方では雇用の場の確保が遅れていましたが、今日、田舎暮らしに対する関心が高まる中、農業やサービス業（ICT*、観光等）での起業・就業の動きがみられるようになってきました。「住む場」においては、新築もさることながら、増える空き家の活用に関心が集まっています。「育てる場」では、田舎ならではのゆとりある保育環境が評価される一方、いざという時でも安心できる医療環境の充実が求められています。

安芸高田市は、これまでも定住促進を最重要課題として位置づけその解決に向けて取り組んできたところですが、これまで以上にその推進を図るべく、これら3つの場の総合的な整備に取り組めます。

働く場を

整える

住む場を

整える

育てる場を

整える



定住人口の維持・増加へ！

●プロジェクトを構成する主要施策

| 区分 | 取り組み方針 | 構成する主要施策 | |
|----------|---|--|---|
| 働く場を整える | 若者や定年退職者の就農を促進するほか、ICTや観光等、サービス業種を中心とした企業誘致、起業支援に取り組みます。また、雇用情報の積極的な掘り起しと情報発信に努め、就労機会の充実を図ります。 | 施策 118 担い手確保と就農支援 施策 130 企業立地の促進 施策 131 起業支援の充実 施策 132 多様な働き方を支える環境づくり | p110 p117 p117 p117 |
| 住む場を整える | 多様な居住ニーズに配慮した市営・市有住宅*の整備を進めるほか、民間の宅地開発支援、住宅整備に係る経済的支援に取り組みます。また、地域振興組織*等との連携の下、空き家活用の促進を図ります。 | 施策 21 市営・市有住宅の整備推進 施策 22 良質な宅地・住宅の供給支援 施策 23 空き家の活用推進 | p49 p49 p49 |
| 育てる場を整える | 子育て相談・保育体制の充実、経済的支援の充実により、子育て世帯の負担軽減を図るほか、小児科や産婦人科、救急等の医療環境の充実に努め、安心して子育てできる環境整備に取り組みます。また、婚活*支援にも取り組み、出会いの創出を図ります。 | 施策 47 相談・支援体制の充実 施策 48 幼児保育の充実 施策 49 学童保育の充実 施策 50 経済的支援の充実 施策 51 婚活支援の充実 施策 72 受診機会の拡充 施策 73 救急医療体制の充実 | p66 p66 p66 p66 p66 p81 p81 |

●プロジェクトの主要指標

| 目標指標 | 現状値 (H25) | 目標値 (H31) |
|----------|-----------|-----------|
| 総人口 | 30,217人 | ▼ 28,500人 |
| Uターン*世帯数 | - | - 48組/年 |

地域経済の好循環推進プロジェクト



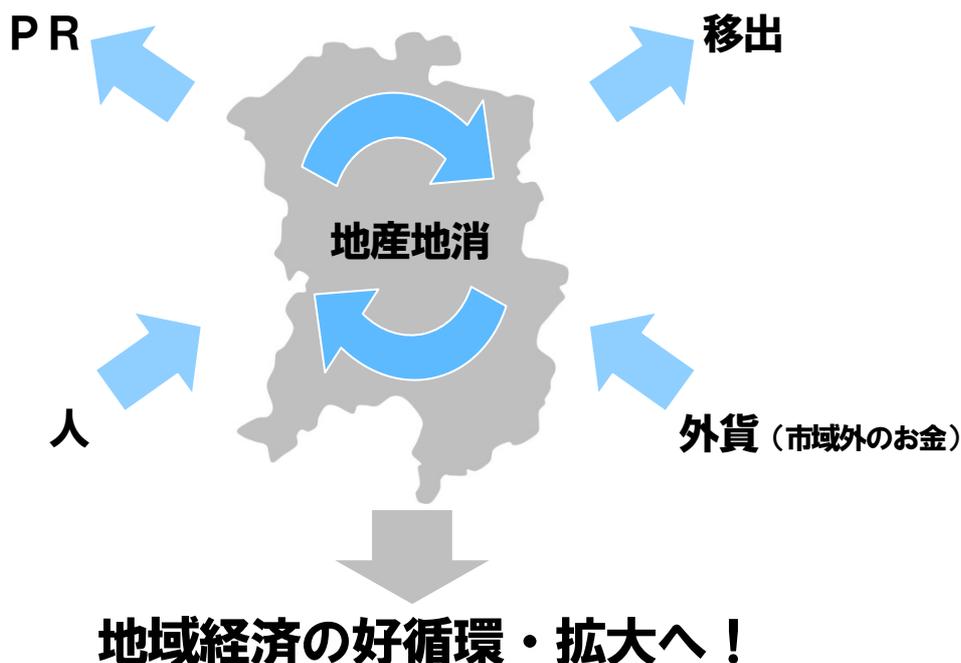
本プロジェクトは、農産物等を中心とする生産基盤の強化と地元での購買意識を喚起することによる地産地消サイクルの構築、観光や6次産業化*等による外貨獲得の推進を通じて、地域経済の好循環・拡大を目指す取り組みです。

●プロジェクト化の背景と必要性

郊外型の大規模店舗・チェーン店等の立地、インターネット通販の普及等により、日本全国どこでも高品質・低価格の商品が簡単に手に入るようになりました。しかし、利便性や価格の過度な追求により消費の市外流出が進んだ結果、地元企業や個人商店等が減少し、身近な買い物環境の喪失、個性ある街並みの喪失といった問題が顕在化しています。

こういった情勢の中、地産地消サイクルの拡大により消費の市外流出を抑制するとともに、観光や6次産業化等、地域資源を活かした取り組みにより外貨（市域外のお金）の獲得を進めることで、地域経済の好循環を促していくことが求められています。

安芸高田市では、農産物等の市内での生産・流通体制の強化を図るとともに、食育を通じた意識啓発等により、地産地消体制の充実を図ります。また、神楽等の伝統文化を活かした観光産業、6次産業化、対外的なPRの強化等を通して、外貨獲得の取り組みを推進していきます。



●プロジェクトを構成する主要施策

| 区分 | 取り組み方針 | 構成する主要施策 | |
|-------------|---|--|--------------------------------------|
| 地産地消サイクルを回す | 農産物等の生産体制強化を図るとともに、これら生産物の市内取扱い量の拡大、消費者の地元での購買意識を喚起させ、地産地消サイクルの拡大を図ります。 また、太陽光や木質バイオマス等の再生可能エネルギー*の活用を進めることで、エネルギーの地産地消を推進します。 | 施策 94 再生可能エネルギーの導入推進 施策 117 農業振興体制の整備 施策 119 農業生産の振興 施策 123 林業振興の多面的展開の推進 施策 129 地元購買の喚起と活性化 | p91 p110 p110 p113 p115 |
| | 観光資源の充実、地域資源を活かした商品開発、受け入れ体制の強化、積極的なPRの推進等を通じて、観光産業や6次産業の活性化を促し、外貨獲得サイクルの拡大を図ります。 また、地元商工業者に対する支援を推進し、競争力ある産業の育成を図ります。 | 施策 103 観光資源の開発と活用の推進 施策 104 観光の推進体制の充実 施策 120 個性ある農業の展開 施策 127 商店・企業の活性化支援 施策 128 地域産業の育成 | p100 p100 p111 p115 p115 |

●プロジェクトの主要指標

| 目標指標 | 現状値 (H25) | 目標値 (H31) |
|------------|----------------|--------------|
| 安芸高田市 総生産額 | 1,194 億円/年 (※) | ➡ 1,200 億円/年 |
| 一人あたり観光消費額 | 1,162 円/人 | ➡ 1,353 円/人 |

※平成23年度の値

次代を切り拓く青少年育成プロジェクト

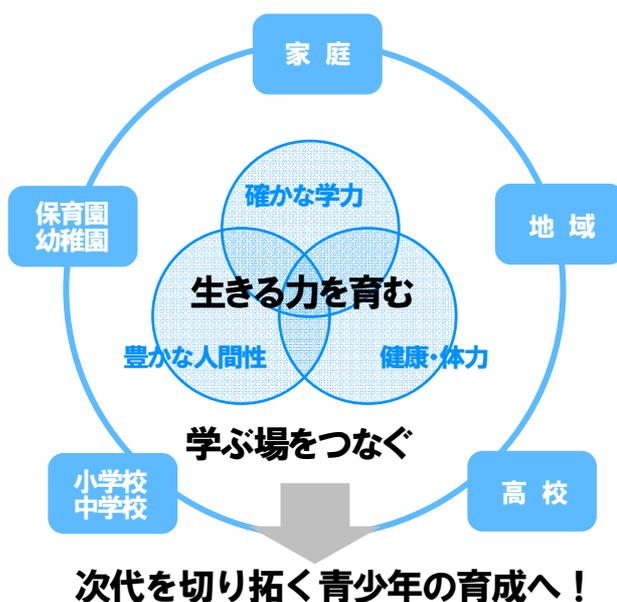
本プロジェクトは、安芸高田市の全ての青少年に確かな学力、豊かな人間性、健康・体力といったいわゆる知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む取り組みです。中でも、安芸高田市の歴史・文化、道徳を尊重する心を育む取り組みは、確かな学力の定着とともに重点的に推進します。そして、これらの取り組みを支える学びの場の整備を進めることで、次代を切り拓く青少年の育成を目指します。

●プロジェクト化の背景と必要性

少子高齢化やグローバル化*、高度情報化等、社会は日々目まぐるしく変化していきませんが、そういった中でも自分の夢と志をしっかりと見据え、ふるさとに想いを寄せながら世界を相手に活躍する安芸高田市の出身者も増えています。また、地方に対する価値観が変化する中、地域のために活動する青少年の姿も注目を集めるようになっていきます。しかしながら、いじめや引きこもり等、社会生活にうまくなじめない青少年の増加も社会問題化しています。

こういった社会情勢の中、学び続ける力を基礎として、他者と協働できる力、自ら深く考え新しい答えを創り出す力の育成がより一層求められるようになっていきます。

安芸高田市では、「スポーツ」や「多文化共生*」を推進してきた強みを活かしつつ、学力の向上をはじめ、郷土を愛する心、豊かな心、健康な体を育む取り組みを通して、この変化の激しい社会を力強く生きぬく、次代を切り拓くことのできる青少年の育成に取り組めます。また、学校間や家庭・地域・学校の連携の強化を図る等、その育成環境の充実に推進します。



●プロジェクトを構成する主要施策

| 区分 | 取り組み方針 | 構成する主要施策 | |
|---------|---|--|---|
| 生きる力を育む | 「基礎的・基本的な知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学習に取り組む意欲」の「学力の3要素」の育成に取り組みます。 障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行います。 | 施策 24 確かな学力の向上 施策 27 国際教育の推進 施策 29 特別支援教育の充実 | p52 p52 p52 |
| | 郷土理解学習、地域体験学習等を通して、郷土「安芸高田」の伝統と文化を尊重する心を育みます。 人権教育、多文化共生教育等を通して、一人ひとりの人権を尊重する心を育みます。 | 施策 26 豊かな心の育成 施策 27 国際教育の推進 施策 28 生徒指導の推進 施策 37 人権教育・人権啓発の推進 施策 39 青少年教育の推進 施策 105 交流機会の充実 施策 115 多文化共生教育の推進 | p52 p52 p52 p60 p60 p100 p107 |
| | 食育の充実を図るほか、学校体育の充実やスポーツ等を通じた健康・体力づくりを推進します。 | 施策 25 健やかな体の育成 施策 43 スポーツ活動の推進 施策 67 食育の推進 | p52 p60 p79 |
| 学ぶ場をつなぐ | 小中連携をはじめ保幼小連携等の在り方について検討を進めるほか、家庭・地域・学校間の連携強化を図ります。また、情報教育環境の充実を図り、世界とつながる学びの場を構築します。 | 施策 30 開かれた学校づくりの推進 施策 31 教職員の資質能力の向上 施策 32 連携教育の充実 施策 34 情報教育推進のための基盤整備 | p55 p55 p55 p57 |

●プロジェクトの主要指標

| 目標指標 | 現状値 (H25) | 目標値 (H31) |
|----------------------------|-----------|-----------|
| 将来に夢や目標を持っている小中学生の割合 | 86% | ➡ 95% |
| 安芸高田市に住みたい・戻ってきたいと思う中高生の割合 | 52% | ➡ 65% |

コミュニティ活動の高度化プロジェクト



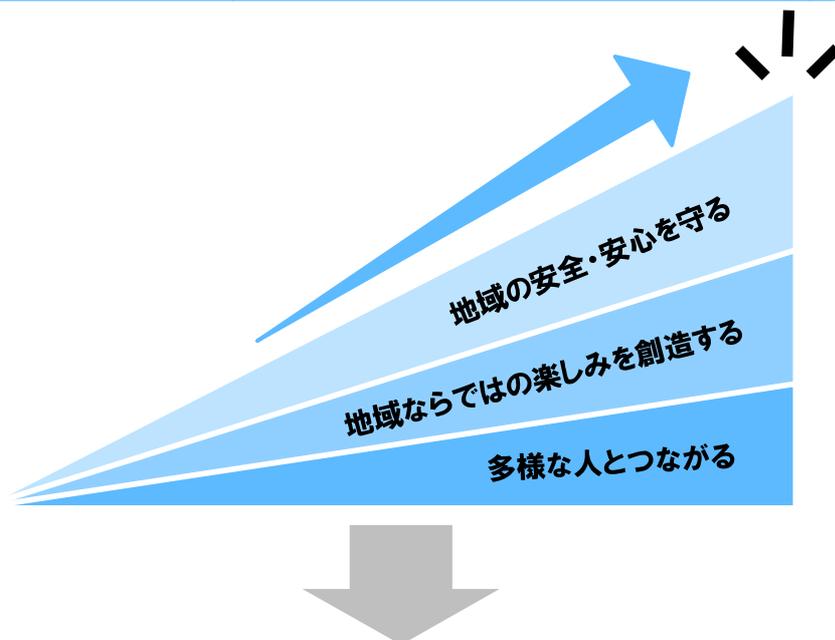
本プロジェクトは、住民自らの手で地域の安心を守り、その地域ならではの楽しみを創造していくとともに、地域内外の多様な人とのつながりを構築していくことで、コミュニティ活動の更なる高度化を目指す取り組みです。

●プロジェクト化の背景と必要性

東日本大震災や平成26年8月豪雨等、大規模な自然災害が相次ぐ中、ハード整備による防災には限界があり、災害発生直前・直後における地域ぐるみでの避難行動が極めて重要との認識が広く共有されるようになりました。また、少子高齢化の進行に伴う社会保障費の増大により、高齢者福祉施策は施設から地域へと移行しつつある等、地域の安全・安心を守る上で地域コミュニティとの連携・協働は不可欠なものとなっています。

他方、近年はグリーンツーリズム*や6次産業化*、生活支援サービス*等、地域が主体となって観光や商品開発等に携わり、収入を得ていく取り組みも全国で注目されるようになっており、安全・安心にとどまらない多面的な展開が進みつつあります。

安芸高田市では、32の地域振興組織*が中心となり、地域福祉、防災・防犯等の分野において全国に先駆けた活動を展開してきましたが、更なるステップアップに向け、その充実に引き続き取り組むとともに、地域産業の育成等を視野に入れた楽しみの創造、若者や女性、外国人等、多様な人の参画による活動推進に取り組んでいきます。



コミュニティ活動の更なる高度化へ！

●プロジェクトを構成する主要施策

| 区分 | 取り組み方針 | 構成する主要施策 | |
|---------------------|--|--|---------------------------------|
| 地域の安全・ 安心を守る | 消防団や自主防災組織*の維持・ 充実のほか、子供や高齢者、障害 者への声掛け・見守り等を通し て、全ての人が安心して暮らせる 環境づくりに取り組みます。 | 施策 57 地域消防力の維持 施策 59 自主防災活動の推進 施策 63 防犯対策の充実 施策 78 地域福祉体制の構築 施策 84 障害者の自立と社会参加の促進 | p72 p75 p77 p84 p87 |
| 地域ならではの 楽しみを創造する | 趣味やスポーツ、地域活動等を通 した生きがいづくり・楽しみづく りに取り組みます。 また、地域資源を活かした商品開 発等を通して、地域産業の育成に 取り組みます。 | 施策 79 生きがいづくりの推進 施策 99 伝統文化の継承 施策 103 観光資源の開発と活用の推進 施策 128 地域産業の育成 | p84 p95 p100 p115 |
| 多様な人と つながる | 活動の核となる地域振興組織へ の支援のほか、若者、女性、外国 人等、多様な人がつながる仕組み づくりに取り組みます。 また、若者等の地域活動に対する 関心度向上に向け、効果的な広報 活動の推進に取り組みます。 | 施策 106 地域振興組織の活動支援 施策 107 住民参加体制の確立 施策 108 広報・広聴活動の充実 施策 114 多文化交流機会の充実 | p103 p103 p103 p107 |

●プロジェクトの主要指標

| 目標指標 | 現状値 (H25) | 目標値 (H31) |
|-------------------------|-----------|-----------|
| ずっと住み続けたいと思う市民の割合 | 44% | ➡ 55% |
| 協働のまちづくりに関心のある20~30代の割合 | 21% | ➡ 30% |
| 協働のまちづくりに関心のある女性の割合 | 23% | ➡ 30% |